

越山若水

2021.1.8

「雪は天から送られた手紙」。

物理学者の中谷宇吉郎の言葉である。雪の結晶から上空の気象状態を知ることができるという。その

天から寒気が流入している。県内

には年末からの積雪も残る。十分警戒したい

▼2018年の福井豪雪では、強い寒気で大量の積雪があり、道路網は寸断され交通機関はまひした。孤立した集落もあった。あの時の教訓から除雪体制をはじめ、さまざまな対策が講じられた。とはいえ油断は禁物である

▼今季はさらに、新型コロナウイルスの脅威

が増加に歯止めがかからず、首都圏では緊急事態宣言が発令されるほど医療現場は逼迫している。社会全体で立ち向かうしかなかろう

▼昨年生誕120年を迎えた中谷は、雪の結晶の「暗号」を読み解き、世界で初めて人工雪をつくった。科学を分かりやすく伝えるため数多くの文章も残した。ある随筆で、浅間山の小規模の噴火活動に遭遇した際、下山してきた学生の平気そうな反応をみて、「正當にこわがることのむずかしさ」を語っている

▼人は危機が迫っていても自分は大丈夫と思いがちだ。「正常化バイアス」といわれるが

寒波襲来やコロナ禍の今、「何事をするにも正しい科学的精神と態度とをもって為すことが必要」との中谷の警告にも耳を傾けたい。